

北伐と中国統一

1926年、北伐が開始され、日本の権益と居留民が危険にさらされた。田中義一内閣は、この事態に直面して3度にわたる山東出兵をおこなった。またこの内閣は、満州における権益の守備の仕方について、関東軍と考えを異にしたが、その一部が起こした張作霖爆殺事件の責任を負って退陣するのやむなきにいたった。

○中国統一の動き

●軍閥の割拠

1916年、中華民国の大総統であった軍人袁世凱が死没した。

⇒袁世凱の配下の部将たち軍閥が各地で抗争を始め、中国内は分裂した。



次の2つの団体が組織され、軍閥打倒・中国統一を目指した。

- ①中国国民党…1919年、孫文に組織された団体
 - ②中国共産党…1921年、ソ連の支援を得て組織された団体
- ⇒1924年、両団体の協力関係第1次国共合作が実現した。



図1 中国大陸

●北伐の開始

孫文の死後、⁽¹⁾ _____ が中国国民党の指導者となった。

⇒1926年、(1)は中国国民党で編成した軍隊(国民革命軍)をつくり、軍閥打倒・中国統一のために、広州から北上する⁽²⁾ _____ を始めた。



(2)が進行する中、(1)は協力関係にあった中国共産党の弾圧を始め、1927年には、南京に⁽³⁾ _____ を樹立した。



図2 蔣介石

●山東半島の日本人保護

1922年の山東懸案解決条約締結後も、山東省における日本の権益は少し残された。

⇒国民革命軍は各国居留民の殺害事件を起こしており、日本人居留民も脅威にさらされた。

<田中義一内閣 | 1927年4月~1929年7月>

1927~28年、⁽⁴⁾ _____

…田中義一首相が、日本人居留民保護を目的に、山東省に3度出兵したこと

…この間に⁽⁵⁾ _____ を開き、中国における権益を実力で守る強硬方針を確認

…2度目の出兵時に、日本軍・国民革命軍が済南で武力衝突する事件が発生(済南事件)



図3 山東省

必要に迫られた出兵—山東出兵

1927年3月、国民革命軍が日本を含む各国の領事館と居留民を襲った。国民革命軍は規律が取れておらず、婦女の陵辱におよぶ者もいた。これに対して米英は報復をおこない、また、日本は日本人居留民の保護を目的に出兵した。右図は、日本軍に守られて学校へ向かう日本人の子どもたちである。しかし、日本人居留民への襲撃は全て防ぎきれず、済南事件が生じた。



●関東軍の計画と失敗

1919年、関東州（旅順・大連を含む遼東半島南端）の統治機関関東都督府が、行政担当の⁽⁶⁾ _____ と軍事担当の⁽⁷⁾ _____ に分離した。

⇒(7)は、関東州・満鉄沿線の守護と居留民の保護を担い、

また、満州の軍閥⁽⁸⁾ _____ の支援して国民革命軍の進行を防ごうとした。



図4 関東州

<田中義一内閣 | 1927年4月～1929年7月>

1928年、⁽⁹⁾ _____

…関東軍の一部が、国民革命軍に寝返る気配を見せた張作霖を列車ごと爆破し、混乱に乗じた満州の支配を画策した事件

…田中義一は、真相公表と嚴重処分を昭和天皇に誓ったが、

閣僚・陸軍の反対を受けて、首謀者河本大作の停職処分に方針転換

◇(9) …事件の内容を国民に隠すため、満州某重大事件と当初呼称



国民革命軍
図5 張作霖の役割



図6 張作霖爆殺事件

↓
約束を違えた田中義一は、昭和天皇から叱責され、1929年に総辞職した。

●中国統一の達成

張作霖の子張^{ちょうがくりょう}学良は、事件の真相を知っており、日本の指示を無視して、勢力下の満州を国民政府支配下の土地と認めた。

⇒ここに北伐は完了し、国民政府による中国統一が達成された。

◇易職^{えきし}…国民政府との合流に際して、張学良が忠誠を表明するために、国民党の旗「青天白日旗」を満州全域に掲げたこと



図7 張学良

↓
この頃の中国では、諸外国に与えた権利などの回収を目指す気運が高まった。

⇒1931年、国民政府は不平等条約の無効を一方的に宣言し、

また、日本の権益（租借地や満鉄経営など）も回収しようとし始めた。

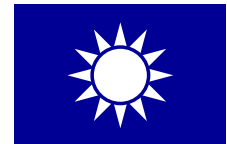


図8 青天白日旗

○逆風に立つ日本

●右翼の源流

日本は、1919年のパリ講和会議に戦勝国として臨んだが、権益について諸外国から予想外の批判を浴びた。

→このような時代背景下、次の2人が日本の進むべき道を模索した。

①⁽¹⁰⁾ _____ …『⁽¹¹⁾ _____』を著し、

日本の国際的孤立を打開するための国家改造を述べた人物

②大川周明…猶存社^{ゆうぞんしゃ}を結成し、国家改造を主張した人物

⇒彼らに影響された軍や右翼は、後に国家改造運動を進めていった。

◇右翼…天皇制などの日本的な伝統を重視し、特に排外的な傾向を持つ勢力



図9 北一輝



図10 大川周明

●満蒙の危機

国民政府による日本の権益の回収は、日本にとって大きな脅威となった。

⇒軍や右翼は、「満蒙の危機」を叫び、幣原喜重郎による協調外交を批判した。

◇満蒙…満州と蒙古族の居住地域である蒙古を合わせた地域